

(十五丁ウゝ十六丁オ)

- ① 穴あなのうちにあつて安穩あんをんにすまいするとミれば、ばんじ吉兆きつてうなり、
- ② 刀とうけんをもつていふくをつらぬくと見れば、やまひをうくる事あり、
- ③ 女房にょぼうのいふくをうがちやぶると見れば、恥辱ちじよくをうくる事出来できるなり、
- ④ 樹きのうへに銭ぜにをかけると見れば、いろくのぞミ事出来るなり、こゝろへべし、のぞミ事
- ⑤ 樹きに上のぼつつてあやまりてすべりおつると見れば、精神せいしんおとろふなり、よふじやうするべし、
- ⑥ 山林さんりんやけると見れば、きんぐを得るなり、
- ⑦ いぬをよぶと見れば、他家たけより酒さけさかなをおくり来くるなり、
- ⑧ 犬いぬむらがりて天てんにのぼると見れば、おゝいなるふくとくあり、
- ⑨ しだれうめのさかりをミれば、他家ニむかいてあやまる事できるなり、
- ⑩ ひがんざくら京ざくらさかりなればよし、ちるをミればあしく、
- ⑪ 馬といぬとあつまるをミれば、よろしからず、
- ⑫ 六畜ろくちく人と物ものがたりをするとミれば、おゝいにあしき事出来てなんぎとなるなり、
- ⑬ 六畜ろくちくとハ牛うし・馬むま・羊ひつじ・豕ぶた・犬いぬ・にハとり等也、
- ⑭ 尤六ちくそろひて物がたりなすにハあらず、此内なにても物いひてはなしすると見れば、おふいにあしく、